



## JET プログラムの諸オリエンテーション

会長 キャロライン・イディオス  
第11ブロック代表 張 守愛  
第1ブロック代表 クレア・ギテンズ  
第3ブロック代表 デニース・シュリックベールンド  
翻訳・通訳担当 クレイトン・フレデリック

### はじめに

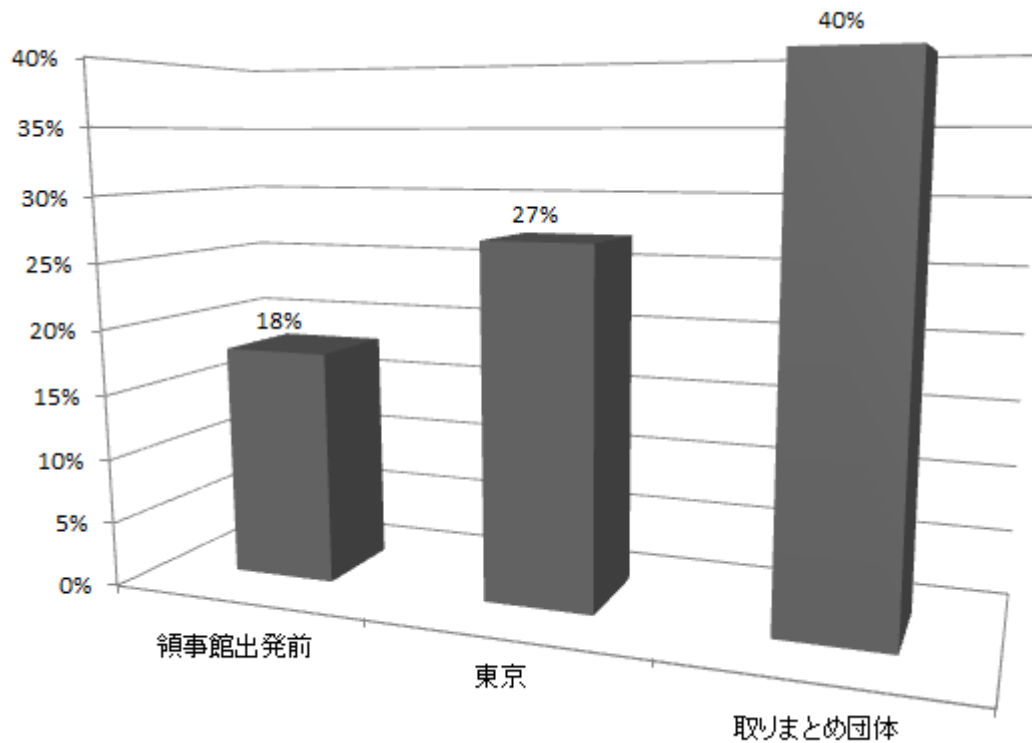
来日にあたって、多くの JET プログラム参加者は在外公館での出発直前オリエンテーション、東京オリエンテーション、取りまとめ団体オリエンテーション、三つのオリエンテーションに参加する。これら三つのオリエンテーションでは、学校での典型的な一日、日本の習慣や文化、カルチャーショック、教案作成及び発展などといった、数多くの課題について情報を提供しているにもかかわらず、新規 JET プログラム参加者は初出勤日の準備が十分できていると実感できないことがよくある。本報告書は、それぞれのオリエンテーションのための改善提案を取り上げるものである。

### 方法

本報告書で解析するデータは、321 人が 71% 完成度で回答した 2010 年 10・11 月実施のオンライン調査に基づいている。回答者は、外国語指導助手 (ALT) 297 人、国際交流員 (CIR) 23 人で、最多 39.4% が 1 年目、26.3% は 2 年目、17.5% は 3 年目、8.4% は 4 年目、8.4% は 5 年目である。スポーツ国際交流員 (SEA) 回答者はいない。質問は、多項選択式、自由回答形式及びリスト選択である。回答者の募集は、PC メール、ソーシャル・ネットワーキング・サイト「フェイスブック」、[ajet.net](http://ajet.net)、各都道府県の JET ホームページ及び口頭による。

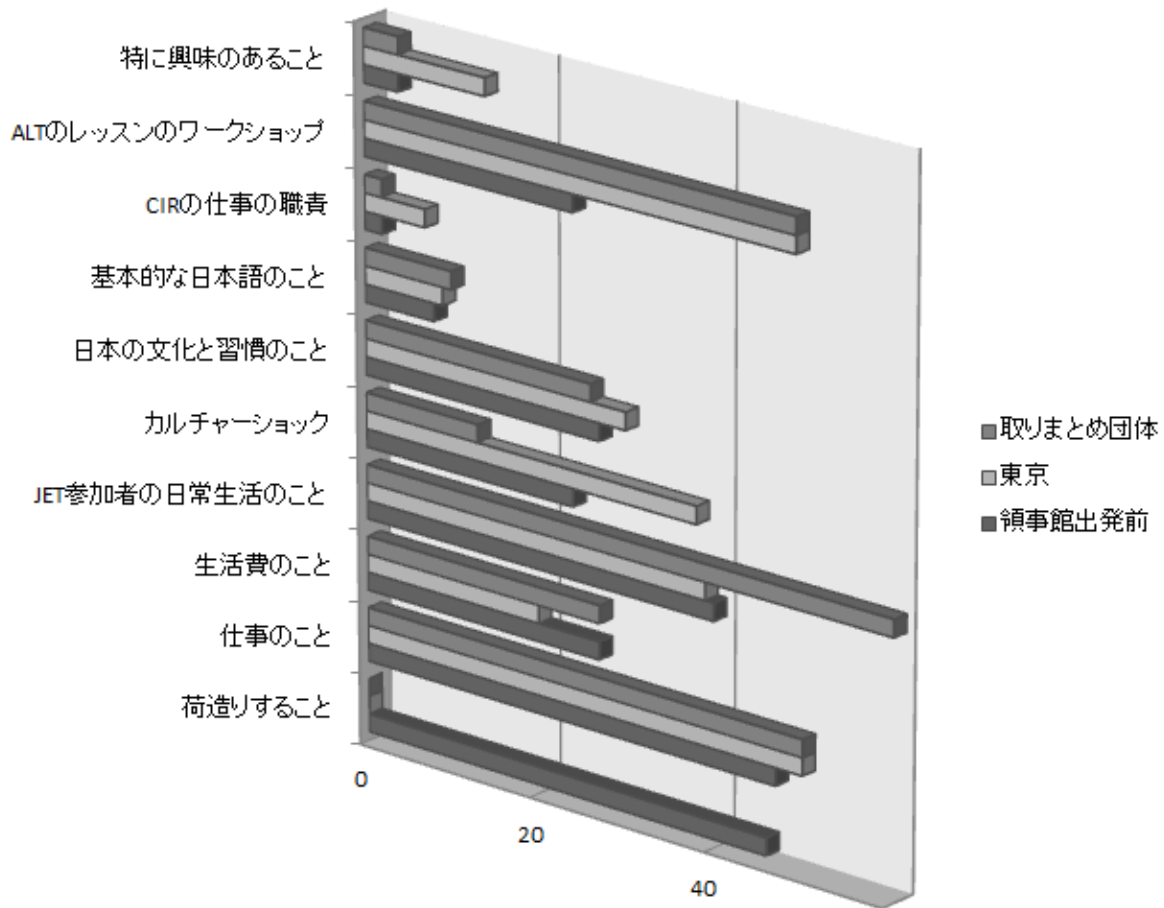
## 結果

参加したオリエンテーション中でどのオリエンテーションが一番役に立ちましたか。



大部分のJET回答者は、取りまとめ団体オリエンテーションが最も役に立ったと答えた。その有効性に寄与する要因は、時差ぼけの解消や、オリエンテーションまでに日本での生活に慣れる時間である。しかし複数の回答者は、C日程来日の前に取りまとめ団体オリエンテーションが行われ、縮小型C日程東京オリエンテーションのみに参加したため、日本での仕事と生活のための準備が十分にできていなかったと答えた。

オリエンテーションで役に立つと思われるテーマを3つあげてください。

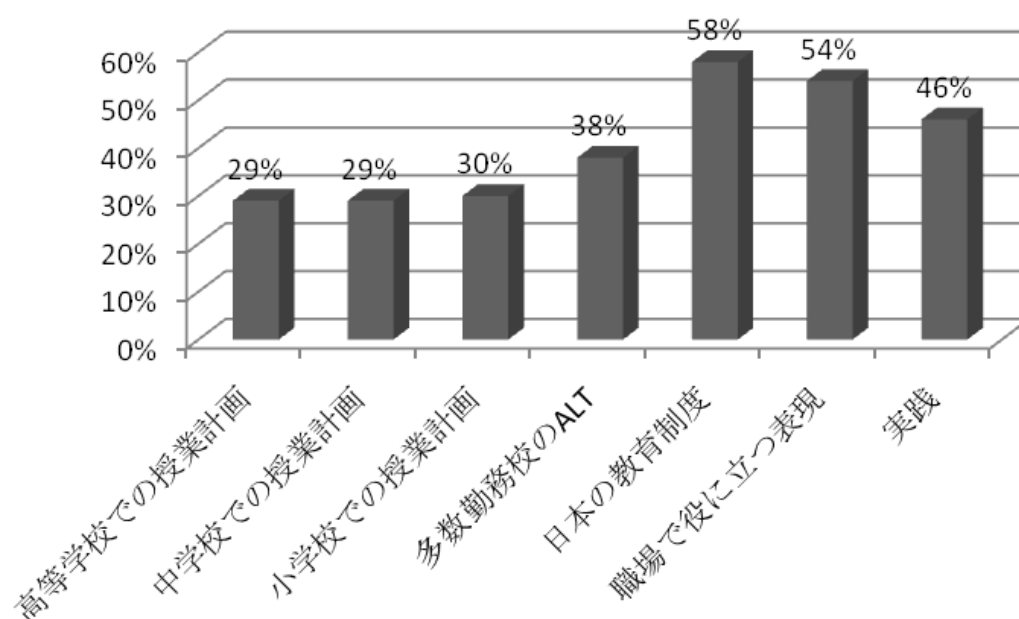


東京オリエンテーションでは、日本での生活に自ら適応する方法より、職責・職務遂行を重視すれば良かったと答えた。

「レッスン実演はあまりにも特定の状況のみに関係するもので、より良い ALT になるためのもっと一般的なアドバイスがなかった。ただ一つのゲームや教案を話し込むより、文科省の学習指導要領にある、多くの授業で起きる場面の進め方を教えたほうが役に立つと思った。例えば、読み・書き・リスニング活動をより楽しくすることなど」一秋田県1年目のALT

取りまとめ団体オリエンテーションは、JET参加者が実際に経験しそうな場面に関する具体的な情報を提供し、職場で期待されていることの明確な理解を与えた。実演レッスンも、将来の授業や自己紹介のための実践的なアイデアや助けとなるアドバイスを提供した。同じような状況にいるベテランJET参加者に質問を具体的に答えてもらった。そして、新しい環境で共同社会の一員である実感を与えた。

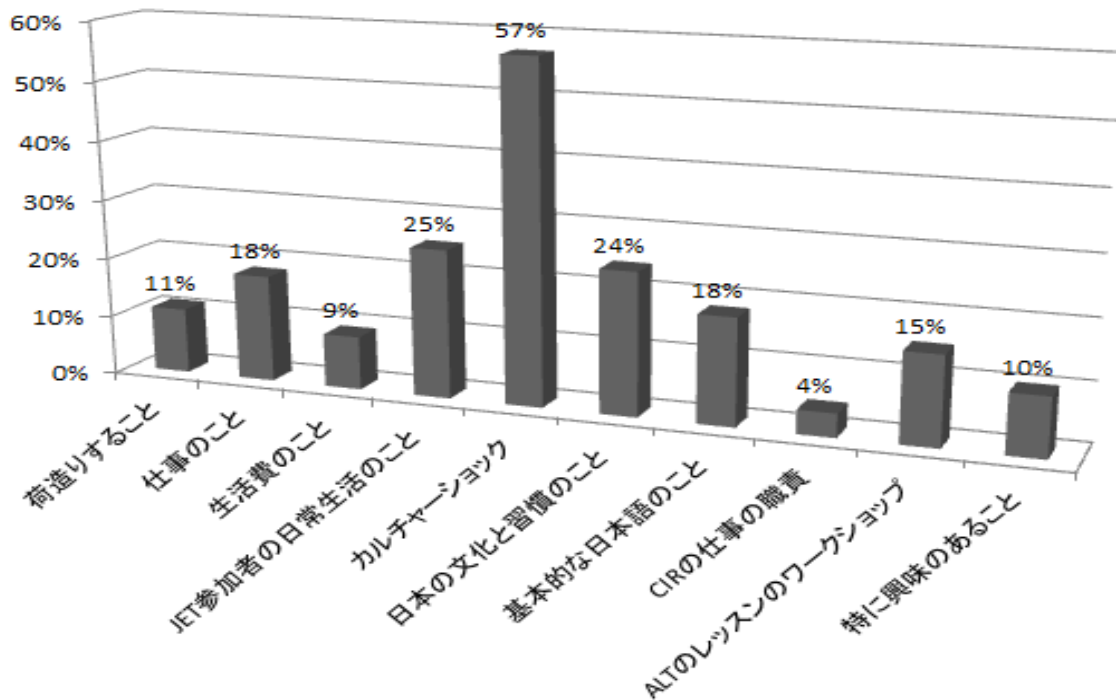
ALTのみ、参加したオリエンテーションやワークショップでは、もっと知りたかったことがありますか。



上記の質問に対して、回答は均等に「日本の教育制度」、「職場で役に立つ表現」と「実践・実演」に分布された。日本の教育制度において授業を行う準備が不十分であったことに対して、愛媛県配属2年目のALTは以下のように述べた。

「日本の教育制度や方針について全然知りませんでした。それについてオリエンテーションでお話しをしてもらえたり、ALTの役割を話し合ったりできたら助かります。」

これまであなたが参加したオリエンテーションの中でどの話題が重複していると感じていましたか？



上記の質問に対し、「カルチャーショック」、「JET参加者の日常生活のこと」と「日本の文化と習慣のこと」が最も多い答えであった。カルチャーショックを取り上げるのは重要であるが、あまりにも言及されがちで、合理的な対策が少なかった。島根県配属の1年目のALTは以下のように述べた。

「カルチャーショックを重視すぎていると思います。12月に落ち込みやすくなるよといったん教えてしまうと、すぐ嫌な経験をカルチャーショックのせいにする人が多いと思います。つまり、『第2ステージ』をじっと待っているばかりで、自分で対処する方法を積極的に探そうとしないのです。」

調査では、回答者は東京オリエンテーションのカルチャーショック講義は肯定的なコメントが書かれてあったが、取りまとめ団体のカルチャーショック講義ではそれほど良くない評価もあった。

## ディスカッション

### 出発直前オリエンテーション

出発直前オリエンテーションの困難点の一つは、新規JET参加者が赴任する千差万別の配属先がわからない事である。つまり、具体的かつ役に立つ情報を提供することは難しい。いくつかの回答者、特に、すでに日本経験がある者や日本語を習得し

ている者は、自分の状況と関係しなかった情報は役に立たなかったと書いた。しかし、それより数多くの回答者は、元 JET 参加者や発表者の事例を聞いて参考になったと述べた。

### AJET 推奨

オリエンテーションの各段階で JET 参加者が希望するワークショップ主題には「職業生活」と「職場で期待されていること」がある。多くの JET 参加者は、現場での経験が少ないため、チームティーチング、実践的な活動や、その他職務に関する情報を与えると役に立つ。様々な職場の状況はあるが、

このような情報が役に立つ理由が二つある。それは、以前日本での経験の有無や日本語能力にかかわらず使えることと、新規 JET が感じる不安を解消することである。

### カルチャーショック

新規 JET 参加者の来日直後、新生活に慣れるまでは、ほかの JET 参加者と一緒にかなりの時間を過ごすことが多い。調査のコメントによると、新規 JET 参加者は、JET 参加者の多文化的コミュニティーの中に入った時にカルチャーショックを受けてしまうことがよくあった。一人の回答者は、県内 80 人の JET プログラム参加者の中でただ一人だけのオーストラリア人であった。日本の生活に慣れるだけでなく、JET コミュニティー内のカルチャーショックに適応することはかなりの負担になる場合がある。

### AJET 推奨

カルチャーショックについてのワークショップや発表で、特に多文化的 JET コミュニティーにおけるカルチャーショック、JET 参加者が体験するカルチャーショックの他の面を取り上げること。AJET ピアサポートグループに電話することなど、カルチャーショックを戦うのに JET 参加者が活用できるツールや援助について発表すること。

### 東京オリエンテーション

2010 年の A 及び B 日程の東京オリエンテーションでは、「日本のエチケット入門」、「日本語独学法」、「アジア系 JET 参加者の生活」、「アフリカ系 JET 参加者の生活」、「日本における車の運転」及び「地方の ALT の充実をはかる」のような、職務に関係しないワークショップもある。前記ワークショップは有益であるが、オリエンテーションでそれ以外の発表した情報、特に職業生活に関する情報のほうが役

に立ったという JET 参加者は少なくない。出発直前及び都道府県のオリエンテーションにおいても、日常生活についての講義を受ける。

### AJET 推奨

東京オリエンテーション二日目の午後に日常生活ワークショップまたは都道府県ミーティングに充てるより、職業生活を重要点としてワークショップの内容を調整すること。可能性として、AJET のほうで日常生活ワークショップを提供し、CLAIR ワークショップは職業生活を重視点とする。

### 教授法実演

東京オリエンテーションでの教授法の実演についていくつかコメントがあった。JET 参加者は、限られていたワークショップ時間の効率的な使い方ではなかったと述べた。なぜならば、良いティームティーチング関係またはすばらしいレッスンの実演ではあったが、どのようにして自分の教案を作れば良いか、良い職場関係を築けば良いかについて参考にならなかったからであった。着任後、全く関係していなくて役に立たなかったと感じた JET 参加者が多かった。

### AJET 推奨

教授法実演は、二時間時限で、教授論及び教案発展を取り上げるべきである。ワークショップ中、活動の例、教材資源やツールを共有し、それらについて議論するべきである。

#### 提案主題)

- 小・中・高等学校のための英語活動
- 5・6年における英語ノート活用の在り方
- 外国語教育に巡る教授理論、指導法及び教育学
- 授業計画・教案作成
- 教室管理及び信頼関係

### 日本の教育制度

調査により、日本の教育制度についてもっと詳しい情報、すなわち、教育制度における ALT の役割及び出身国の教育制度の違いを、回答者の 58% がもらいたいという。文部科学省著作の「*Handbook for Team Teaching*」は ALT 全員に配付される資料であるが、十分に活用されていない。

### AJET 推奨

文部科学省の発表では、教育制度における ALT の役割及び ALT によりもたらす便益をより詳しく説明すること。電子化した「*Handbook for Team Teaching Revised Edition*」を PDF ファイルとして JET プログラムホームページ

## JETプログラムの諸オリエンテーション

ージで掲載し、紛失・見落としにならないように、取りまとめ団体オリエンテーションで活用を進めること。

### 国際交流員（CIR）

国際交流員の職務は様々なので、何人かの CIR は、実際に行っている業務（例えば、学校訪問）より、行っていない業務（例えば、翻訳）を重視するオリエンテーションに対して、欲求不満を示した。一方、東京オリエンテーションで要求されたワークショップは「翻訳・通訳」及び「電話対応」であり、CIR 中間研修まで7か月も待たなければならない。4月来日の CIR にとって、前記ワークショップは特別に役に立つ。4月の東京オリエンテーションではカルチャーショックを取り上げるが、富山県配属4年目の CIR は、「日本のある面に中国人はショックを受けるし、ブラジル人やペルー人は他の面にショックを受けることがあることから、出身国別の説明を進めた。

### AJET 推奨

4月オリエンテーションは参加者が多国籍であり、かつ縮小型で実施されるため、国籍別カルチャーショック及び文化の違いについての情報は出発直前オリエンテーションで提供することが必要。文化別情報は到着後、文化の違いに適応するのにより万全な準備をする機会を与える。これは、11月 CIR 中間研修までより長く待たなければならない4月来日の CIR にとって、特に役に立つ。

### 取りまとめ団体オリエンテーション

新規 JET 参加者は日本での新しい生活に慣れる時間がもう少しあるから、東京オリエンテーションより、取りまとめ団体オリエンテーションで日本語習得法を取り上げると良い。

### AJET 推奨

限定的日本語運用力のみ有する JET 参加者にとって、個人で日本語習得することは負担になりがちであるため、取りまとめ団体オリエンテーションの段階で、JET 日本語講座教科書の発送まで、日本語学習をする上で貴重な資料である CLAIR 著作「*Japanese for JETs*」の活用を大掛かりに推進すること。すでに手元にある資料を推進する上に、熊本県実施の先輩・後輩プログラムのようなものを設立すること。

### 引き継ぎ手順

2008年に、AJETの「引き継ぎ手順報告」が発表された。報告の結果、JET参加者用ハンドブック286-292ページの「後任者への引継ぎ情報」が加わった。しかし、書類の存在を知らないJET参加者がほとんどであり、電子で記入可能な版は未だに存在しない。もし書類のことの認識度がより高かければ、かつ、電子での記入は可能であれば、新規JETの来日にあたり、前任者・後任者間コミュニケーションの充実をより図りやすくなるであろう。配属先の状況を早い段階から把握することで、不



安やストレスを解消でき、東京オリエンテーションで適切なワークショップを選ぶこともできる。

**AJET 推奨**

2011 年春期の「CLAIR News」に、「後任者への引継ぎ情報」の電子記入可能版を添付し、配布すること。

**質問**

1. CLAIR、文科省、外務省、又は総務省は、来年の東京オリエンテーションに何か変更又は調整をする予定はあるのか。例えば、ワークショップ及び講義の発表者のための実施要項、ワークショップ内容、又は時間割。
2. 「後任者への引継ぎ情報」を電子で記入可能なものにし、電子メールで配布される「CLAIR News」に添付することは可能なのか。
3. CLAIR、文科省、外務省、又は総務省は、出発直前及び東京オリエンテーションで取り上げる情報を取りまとめ団体に通知しているのか。
4. 仮に全国 AJET のほうで、JET 参加者が求めるそれぞれのワークショップの内容をさらに研究するとしたら、CLAIR、文科省、外務省、又は総務省は、出発直前及び東京オリエンテーションにおけるワークショップかつ発表内容のより詳細な実施要項を作成するためにその情報を利用するのか。
5. CIR 又は ALT の中間研修会では、いずれかのオリエンテーションのワークショップ、特に東京オリエンテーションのワークショップの追跡ワークショップは実施されているのか。
6. 文科省は、「*Handbook for Team Teaching Revised Edition*」をオンラインで利用可能にする予定はあるのか。又、東京オリエンテーション以降の JET 参加者への情報提供を改善する予定はあるのか。
7. C 日程来日 JET 参加者は、A や B 日程来日 JET 参加者ほど情報を与えられていないと感じることがよくある。各取りまとめ団体に、取りまとめ団体オリエンテーションを C 日程の来日の後に実施するように、配慮を依頼することは可能なのか。